

まちに、夢を描こう。



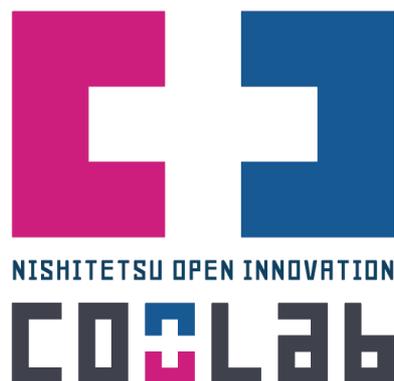
【配布資料】



コ ラ ボ
オープンイノベーションプログラム 西鉄Co+Lab

BUS STOP 3.0

～夢を描く未来のバス停を創ろう～



■ 西日本鉄道グループについて

■ 西鉄Co+Labについて

プログラムの概要 / 過去の開催状況 / 協業事例

■ BUS STOP3.0について

概要 / 運営体制 / 募集テーマ / 募集期間 / 応募資格

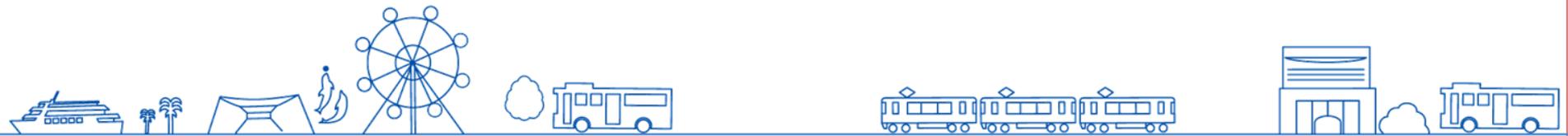
/ 事業化方針 / 提供可能なリソース / スケジュール / 応募方法

※スマートバス停について

※テーマオーナー各社について

西日本鉄道グループについて

まちに、夢を描こう。



西鉄グループの概要



まちに、夢を描こう。



中核会社	西日本鉄道株式会社
設立年月日	1908年12月17日
本社	福岡市博多区博多駅前三丁目5番7号
資本金	261億5,729万円
グループ会社	83社1学校法人（西日本鉄道(株)含む）
営業収益	約3,968億円（連結）
事業内容	運輸業、不動産業、流通業、物流業、 レジャー・サービス業 など



【営業エリア】 ・福岡都市圏、北九州都市圏、福岡県下など
・福岡と九州や本州等の各都市を結ぶ高速バス

【車両台数】 乗合 2,709台 貸切 258台 (日本最多)

【輸送人員】 26,950万人/年

【走行キロ】 13,551万 km/年 (1日に地球約10周分)

※西鉄バスグループ…西日本鉄道、西鉄観光バス、西鉄バス北九州、西鉄バス久留米、西鉄バス大牟田、西鉄バス佐賀、西鉄バス筑豊、西鉄バス宗像、西鉄バス二日市、日田バス、亀の井バス 計12社

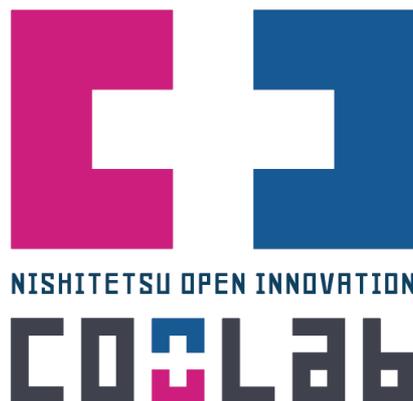
※各数値は2018年度実績



オープンイノベーションプログラム
西鉄Co+Labについて



西鉄Co+Lab（にしてつこらぼ）の概要



スタートアップ（ベンチャー企業）等の優れたアイデア・技術と、西鉄グループの経営資源を組み合わせ、新たなビジネスの創出やサービスの革新を目指すプログラムです。



- ✓ 過去2回開催（2015年度、2016年度）西鉄グループの全事業領域に対し、幅広く協業プランを募集。
- ✓ 過去2回で計109社から事業提案があり、9社と協業実施。

協業事例① 不動産事業



不動産賃貸物件入居者とのコミュニケーションツールアプリの開発



- ▶ 掲示板、Q&A、チャット機能によりご入居者との良好な関係を構築。
- ▶ 「賃貸ご入居者=将来顧客」と位置付け、機能強化により生涯顧客化を目指す。

協業事例② 旅行業・観光事業



台湾ゴルファー向け総合インバウンドツアーの実施



Golface×Nishitetsu 福岡ゴルフツアー 「球人（きゅうじん）」

- ▶ 台湾のITベンチャー・ゴルフフェイス社により、台湾ゴルファーを集客。
- ▶ ゴルフのほか、太宰府・柳川等観光、うなぎ・水炊き等の名物を堪能。
- ▶ 移動や宿泊は西鉄グループにてご提供。
- ▶ 過去8回開催、参加人数110名。

オープンイノベーションプログラム 西鉄Co+Lab BUS STOP3.0について





オープンイノベーションプログラム 西鉄Co+Lab

BUS STOP 3.0

～夢を描く未来のバス停を創ろう～

- ✓ 福岡県北九州市で実証中の「スマートバス停」を活用した新たなビジネスを募集します。
- ✓ ビジネスパートナーとの共創により、移動の発着点・街やくらしの拠点として、バス停での新たな価値の提供を目指します。

■スマートバス停とは？

- 電子ペーパー等にリアルタイムに情報を表示できるバス停。
- 時刻表をはじめ、バス接近情報、災害時の緊急案内、広告などをクラウドから配信。
- 表示を柔軟に変更でき、現在の時刻表を大きく表示したり、多言語を交互に表示することなどが可能。
- 西鉄エム・テック(株)と(株)YE DIGITALが共同開発。

主催



テーマオーナー



西鉄バス北九州(株)



協力



FFGベンチャービジネスパートナーズ

後援



福岡県ベンチャービジネス
支援協議会



公益財団法人 北九州産業学術推進機構 (予定)
Kitakyushu Foundation for the Advancement of Industry, Science and Technology

※運営事務局



西鉄バス北九州(株)



募集テーマ

スマートバス停を活用した新たなビジネス

- スマートバス停の機能や取得可能なデータを活用したサービス
- 【共創ビジネス例】 ○バスやユーザーのアプリと連動したサービス
- 主要道路に約300メートル毎に設置されている特性を活用したサービス

募集期間

2019年7月30日（火）～**9月20日（金）**

応募資格

- 提案プランの実現に向けたリソースを保有する方
- 西鉄グループ、YE DIGITALと協業できる方
- スマートバス停の機能やデータをビジネスに活用したい方

※法人・個人、企業のステージは問いません。

事業化方針

- 選考通過の方とは、**協業を前提** に事業化に取り組みます。
- 実証実験など事業化の取り組みは、テーマオーナー 3 社と共同で進め、**北九州地区で実施** します。
(将来的に西鉄グループ全体や全国への展開を目指します)



西鉄バス北九州株式会社



提供リソース



■ 西鉄グループ

- ・北九州地区で試験運用中の**スマートバス停**（15基 ※予定含む）
現在の機能 : 電源、通信、動画表示、静止画表示、温度センシング
拡張機能（例） : Beacon、IoTセンサー、カメラ、ICカードリーダー 等
- ・1日に地球を約 10 周する**バスネットワーク**と約 3,000 台の**バス車両**
- ・九州で最も発行している**交通系 ICカード「nimoca」**（約 400 万枚）
- ・全国のバス・鉄道事業者や地域企業、自治体などとの**ビジネスネットワーク**

■ YE DIGITAL

- ・スマートバス停の開発に関する**技術・ノウハウ**
- ・全国規模での**サービス・保守サポート体制**/多様多様な**サービス開発環境**
- ・国内の取引先（約4,300社）の**ビジネスネットワーク**
- ・東京・大阪・福岡を拠点に全国に広がる**営業網**

- ① 特設サイトの応募フォームから、お名前、メールアドレス等をご登録ください。
- ② 登録メールアドレス宛にエントリーフォームのURLをお送りいたします。
- ③ エントリーフォームから以下の質問にご回答ください。
サービスやビジネスモデル（キャッシュポイント等）を説明する資料があれば事務局宛にメールでお送りください。
(nishitetsu-colab@nnr.co.jp)

- Q1 応募いただく提案のタイトルを記入してください。
- Q2 サービスの概要を説明してください。
- Q3 このサービスは、どのような市場または顧客がターゲットで、どのようなニーズを満たしますか？
- Q4 ターゲットとする市場は、どの程度の規模がありますか？
- Q5 サービスにおける、お互いの役割は何ですか？
- Q6 このサービスをスタートさせるためにかかるコストの規模を教えてください。
- Q7 このサービスをスタートした場合のスケジュールのイメージを教えてください。
- Q8 （任意）その他、ご提案者の強みや差異化ポイント、PRポイントがあれば記入してください。
- Q9 （任意）プログラムに関するご質問等があれば記入してください。



プラン募集期間

7/30 (火) ~9/20 (金)

特設サイトよりご応募ください。

<http://nishitetsucolab.com>



書類選考

9/下旬

西鉄およびテーマオーナー各社の
担当者にて書類選考を行います。



プレゼンテーション選考

10/月上旬

西鉄およびテーマオーナー各社の
役員へのプレゼンテーションを行います。

※福岡で実施。遠隔地の場合は交通費支給。



共創パートナー決定

10/月上旬

プレゼンテーション選考の結果に基づき、
共創パートナーを決定します。



事業化に向けた取り組み

10/中旬～

共創パートナーの皆さまと、
協業計画策定や実証実験など事業化に
向けて取り組みます。

- ✓ 西鉄グループとYE DIGITAL、両者の強い**コミットメント**
- ✓ 全国52万本、道路に約300メートル毎にある「バス停」という **社会インフラの革新** を目指すプロジェクト
- ✓ 開発→実証/導入→販売。
すべてのフェーズにおいて、技術やノウハウ、場所、ビジネスネットワークなどの **リソース** を提供可能



**ぜひ一緒に未来のバス停を
創りましょう！**

**皆さまからの多数のご提案、
心よりお待ちしております。**

■ 西鉄Co+Lab特設サイト <http://nishitetsucolab.com>

■ お問い合わせ先

西鉄Co+Lab事務局

電話 : 092-734-1220 (平日9:30~18:00)

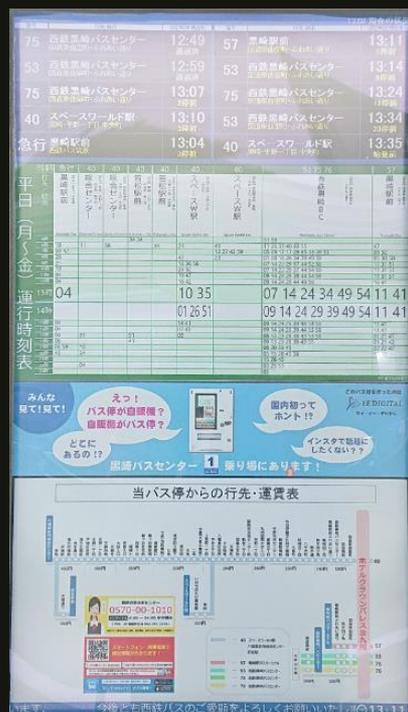
メール : nishitetsu-colab@nnr.co.jp

※スマートバス停について



BUS STOP3.0

未来のバス停方面



バス停をデジタル化。

時刻表を始め、バス接近情報、災害時の**緊急案内**、広告等をクラウドから配信。

表示を柔軟に変更 >>

- ・現在の時刻表の文字を大きくして読みやすく
- ・時刻表を日本語と**外国語**と交互に表示

バス停は電源環境の有無に対応 >>

- ・豊富な情報配信が可能なリッチモデル
- ・情報量を絞ることで消費電力を抑えたソーラーパネルを使ったエコモデル

など、幅広いご提案が可能です。

スマートバス停 取り組みの経緯

原点

バス停の時刻表に纏わる業務は、マンパワーを掛けての
人海戦術作業となっており、**大変!!**

- (西鉄バスの例)
- ・ 頻度：ダイヤ改定（2回/年）の都度
 - ・ お知らせ：10数回/年
 - ・ 対象：約6,000停×上下線＝約12,000停

働き方改革

持続可能性

バス停を新たなマネタイズポイント化し、単純コスト増とせず、
「顧客サービス拡充」「広告収入」「情報サービス」等の
新たなビジネス機会を得る機会に変えていく！

全国各地、
52万基の
問題解決

地域別	バス停数
北海道	28,784
東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）	55,058
関東（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川）	106,778
北陸（新潟、山梨、長野、富山、石川、福井）	56,302
中部（静岡、愛知、岐阜、三重）	58,016
関西（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）	55,030
中四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）	75,478
九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）	83,590

スマートバス停 取り組みの歩み

北九州市八幡地区



小倉地区

電源あり

電源なし



2017年	西日本鉄道、西鉄バス北九州、西鉄エム・テック、YE DIGITALの4社で スマートバス停の検討を開始
2018年1月～	北九州市八幡地区でスマートバス停の 検証を開始
2018年6月～	北九州市小倉地区に試験 運用拡大
2019年1月	石川県 下でスマートバス停の実証開始<北陸鉄道様>
2019年1月	スマートバス停、 MaaS型他交通業種（航空会社）連携
2019年2月	日本初！ 自動販売機一体型 スマートバス停の実証開始
2019年2月	岩手県 下でスマートバス停の実証開始<岩手県交通様>
2019年7月	スマートバス停、 近隣商業施設と連携

現在
10基が
試験運用中

今夏7基
追加予定



時刻表データ 配信



時刻表、路線図

お知らせコンテンツ 配信



お知らせ、広告

稼働状況 見える化

稼働監視 (電池残量、センサー)



携帯電話網
(閉域)

電源供給のある場所 リッチモデル

リッチコンテンツ
表示で利便性向上!
効果的な情報発信!



IoTゲートウェイ



SIM カード

電源供給のない場所 エコモデル

省電力情報表示実現!
手間いらず運用可能!



太陽光パネル



SIM カード

+ 追加搭載可能

- ・温度センシング
- ・Beacon
- ・IoTセンサー
- ・カメラ
- ・ICカードリーダー、など

スマートバス停 バリエーション

繁華街向け



自販機一体型



高速バス乗り場



屋外広告付きバス停連携



主要道路沿い



郊外向け



スマートバス停 バリエーション

	繁華街向け	自販機一体型	屋外広告付き バス停連携	主要道路沿い	郊外向け
モデル	リッチモデル				エコモデル
電源	有線(AC100V)				太陽光+ バッテリー
液晶	透過型LCD				EPD/反射型LCD
表示域	55inch	48inch	40inch	31.5inch	
通信	高速LTE	低速LTE			
配信	サイネージシステム				独自方式 (超省電力)
情報	バスロケWeb掲載可能				—
	時刻表・系統図・お知らせ				
	広告(動画)		広告無し	広告(動画)	広告(静止画)
監視	○	○	○	○	○

スマートバス停におけるコラボレーション

スマートバス停では、様々な企業等とのコラボレーションを推進。
BUS STOP3.0でさらに加速させます！

OPEN INNOVATION PROGRAM 西鉄 Co+Lab

BUS STOP 3.0

～夢を描く未来のバス停を創ろう～

通学、通勤、
お出かけ、旅立ち。
お客さまの様々なご移動を、そっと支え続けてきたバス停。
そんなバス停を、
移動の発着点として、街やくらしの拠点として、
新たな価値をご提供できる場にアップデートさせたい。

BUS STOP 3.0は、
皆さんと一緒にこれからのバス停を共創するプログラムです。

**ビジネスの
共創パートナー
募集！**

■ 募集テーマ
スマートバス停を活用した新たなビジネス

■ 募集期間
2019年7月30日（火）～9月20日（金）

詳しくはこちら <https://www.nishitetsucolab.com>

【本報】西日本鉄道株式会社
【テーマオーナー】西鉄バス北九州株式会社
西鉄エム・テック株式会社
株式会社 YE DIGITAL

BUS STOP 3.0

～夢を描く未来のバス停を創ろう～

OPEN INNOVATION PROGRAM 西鉄 Co+Lab
ビジネスの共創パートナーを募集！

募集テーマ
スマートバス停を活用した新たなビジネス
【共創ビジネス例】
- スマートバス停の機能や取得可能なデータを活用したサービス
- バスとユーザーのアプリと連動したサービス
- 主要道路に約300メートル毎に設置されている特性を活用したサービス

応募資格
○ 提案プランの実現に向けたリソースを保有する企業・大学・個人
○ 西鉄グループ、YE DIGITAL と協業できる企業等
○ スマートバス停の機能やデータを自社のビジネスに活用したい企業等

提供する経営資源
スマートバス停
※現在の機能… 電光時刻、LTE通信、乗降表示、禁止表示
※拡張可能な機能… 広告… Beacon、IoTセンサー、カメラ、ICカードリーダーなど

事業化方針
○ プレゼン選考通過企業等とは、協業を前提に事業化に取り組みます。
○ 実証実験など事業化への取り組みは、北九州地区で実施します。

スケジュール

2019年

- 8/7 (水) 北九州説明会
- 8/22 (水) 福岡説明会
- 9/20 (金) 応募締切
- 9月下旬 書類選考
- 10月上旬 プレゼン選考
- 10月中旬～ 協業計画決定、実証実験

※説明会や選考の詳細は特設サイトでご確認ください。

【主催】
西日本鉄道株式会社
【テーマオーナー】
西鉄バス北九州株式会社
西鉄エム・テック株式会社
株式会社 YE DIGITAL

【実施】
福岡県ベータセンタービジネス実証事業団
北九州局（事務局）
【協力】
一社制法人 StartUpLab
株式会社 PPOベンチャー・ビジネスパートナーズ

スマートバス停とは？

- 電子ペーパー等にリアルタイムに情報を表示できるバス停。
- 時刻表をはじめ、バス接近情報、災害時の緊急案内、広告などをクラウドから配信。
- 表示を柔軟に設定でき、現在の時刻表を大きく表示したり、多言語を交互に表示するなどが可能。
- 西鉄エム・テック製と純 YE DIGITAL が共同開発。

エントリーはこちら <https://www.nishitetsucolab.com>

DOOH（屋外デジタル広告）



【ポイント①】見やすい

【ポイント②】バス到着時間がわかる

【ポイント③】時刻表が入れ替わる

【ポイント④】デジタル広告

気象条件等によって流す広告を変える等、柔軟な広告掲出ができる。

【ポイント⑤】デジタル広告

利用者の多い時間帯等に合わせたダイナミックプライシングが可能

事例②自動販売機一体型（検証中）

デジタルサイネージ型 バス停・自動販売機



【ポイント①】見やすい

【ポイント②】バス到着時間がわかる

【ポイント③】時刻表が入れ替わる



TV（地方局）で取り上げられました！

【ポイント④】ドリンクを
購入できる！！



デジタルサイネージ型
エアポートバス停



【ポイント①】見やすい

【ポイント②】バス到着時間がわかる

【ポイント③】臨時便、イベント告知をデジタル表現できる

【ポイント④】飛行機の離発着／欠航情報がわかる！



事例④近隣商業施設（コンビニ）連動（検証中）

子機付きスマートバス停



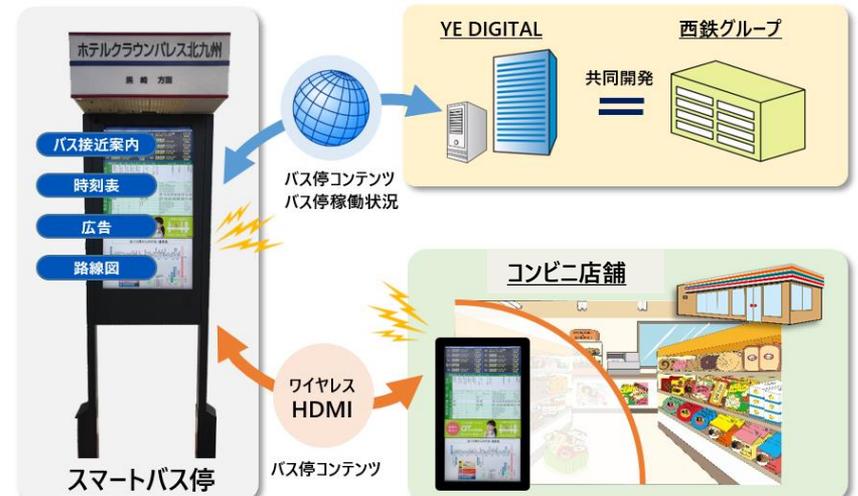
【ポイント①】見やすい

【ポイント②】バス到着時間がわかる

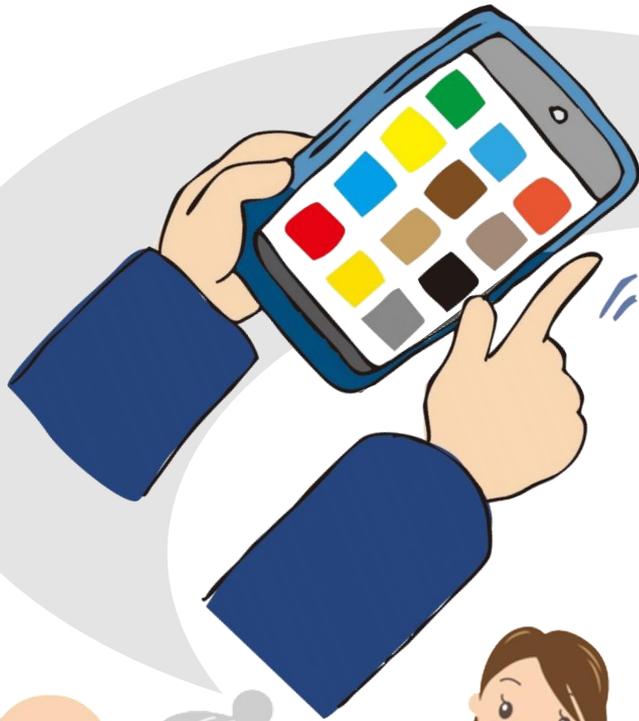
【ポイント③】時刻表が入れ替わる

【ポイント④】ローコスト！

【ポイント⑤】コンビニでもバスを快適に待てる



バス停を楽しい場所へ



BUS STOP 3.0

未来のバス停方面

路線	バス	時刻	バス	時刻	
75	西鉄高崎バスセンター	12:49	67	高崎駅前	13:11
63	西鉄高崎バスセンター	12:59	63	西鉄高崎バスセンター	13:14
75	西鉄高崎バスセンター	13:07	75	西鉄高崎バスセンター	13:24
40	スウェーデン大塚	13:10	63	西鉄高崎バスセンター	13:34
急行 高崎駅前	13:04	40	スウェーデン大塚	13:35	

平日	月	金	運行時刻表	
04	10:35	07:14 24 34 49 54 11 41	01:25 51	09:14 24 29 39 49 54 11 41

みんな見て！
バス停が賑わう！
みんなが笑顔でバス停をのびのびと使おう！

スマホでバス停の情報を確認しよう！
QRコードでバス停の情報を確認しよう！

みんなが笑顔でバス停をのびのびと使おう！

※テーマオーナー 各社について



西鉄バス北九州株式会社



営業開始日 : 2002年10月1日 (設立日: 2002年5月1日)

営業収益 : 88億円

車両保有台数 : 508台 (福岡県で2位、九州で3位の規模)

輸送人員 : 約6千万人/年 (約16万人/日)

走行キロ : 約7万km/日 (地球約2周分)

バス停の本数 : 約2千本

※各数値は2018年度実績



連節バス

**7月22日
運行開始!**

西鉄グループの1社で、バス整備や交通・運輸関連のITシステム、機器・設備等を取り扱う、“交通・運輸サービスの商社”です。



創立	1967年1月30日
設立	2004年7月1日
資本金	6,000万円
主要業種	<ul style="list-style-type: none"> ○バス・一般車両の整備、装備品の管理・修理 ○自動車部品・用品及び機械器具の販売 ○I T 関連機器販売・商品開発 ○損害保険代理業、自動車損害賠償保険代理業、 生命保険の募集に関する業務 ○自動車の新車・中古車の販売
営業収益	約158億円（2018年度実績）
従業員数	727名（2018年4月1日現在）

創業

41年



YASKAWA

安川情報システム株式会社 として、
産業用ロボットのリーディング・カンパニー 安川電機から
1978年に分離独立。

2019年3月に社名を変更し、



売上

124.84億円



従業員数

619名



取引実績会社数

4,300社以上



▼ 3つの事業の柱

ビジネスソリューション

IoTソリューション

サービスビジネス

2000年代前半、まだ「M2M」という言葉が登場する前から、遠隔から状況を把握するシステム開発を受託開発する一方で、自社開発した通信アダプタを提供開始。今日、あまたあるIoTソリューションベンダーの中でも、先駆ける会社。

導入
実績

数百社 以上

